

米の基本指針（案）のポイント

1 28/29年の主食用米等の需給見通し

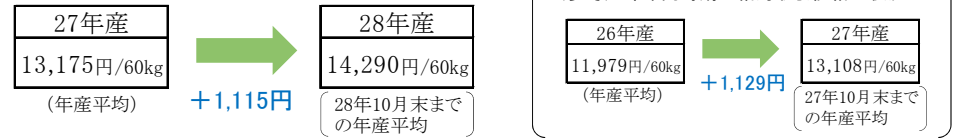
【基本指針（28年7月公表）】

		(単位：万トン)	
平成28年6月末民間在庫量	A	205	205
平成28年産主食用米等生産量	B	743 (生産数量目標)	735 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C = A + B	948	940
平成28/29年主食用米等需要量	D	761	761
平成29年6月末民間在庫量	E = C - D	187	179

【基本指針（28年11月公表）】

- 204万トン ①（民間在庫量が確定）
- 750万トン ②（28年10月15日現在の平成28年産米水稻の予想収穫量（主食用））
- 954万トン ③（①+②）
- 754万トン ④（相対取引価格の上昇が需要量に及ぼす影響を踏まえ必要な補正）
- 200万トン ⑤（③-④）

【相対取引価格の推移】



2 29/30年の主食用米等の需給見通し

		(単位：万トン)	
平成29年6月末民間在庫量	A	200	200
平成29年産主食用米等生産量	B	735 (生産数量目標)	733 (自主的取組参考値)
平成29/30年主食用米等供給量計	C = A + B	935	933
平成29/30年主食用米等需要量	D	753	753
平成30年6月末民間在庫量	E = C - D	182	180

注：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているものの一部が含まれている。

29年産米の生産数量目標は、近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万トン減少していることを勘案し、28年産米の生産数量目標743万トンから8万トンを控除した735万トンと設定。

(参考) 生産数量目標の推移

年産	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
生産数量目標	815	813	795	793	791	765	751	743	735
前年差	0	▲2	▲18	▲2	▲2	▲26	▲14	▲8	▲8

自主的取組参考値は、30年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となるものとして、733万トンと設定。

(参考) 6月末民間在庫量の推移

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
民間在庫量	212	216	181	180	224	220	226	204

8/9年から27/28年までの需要実績を用いて、従前通り、トレンドで算出した753万トンと見通す